

# DAIDO CAMPUS

DAIDO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

2001.7.26 No.37

編集・発行 大同工業大学社会交流センター

〒457-8530 名古屋市南区滝春町10-3

TEL 052-612-6193

## No.37



初夏の滝春新キャンパス

## CONTENTS

# 特集 60周年を祝う 記念式典 毛利衛氏講演会 野村万作狂言会 第36回 大学祭 Place

### 研究室を訪ねて

おヒゲ様は私の変身 井上茂樹教授

### TOPICS

文部科学省科学研究費補助金採択状況

受託研究・奨学寄付金受入状況

国際会議・学会等海外出張状況

### キャンパスライフ

新刊著書を語る

### ゴビーの散歩道

「ビタミンX君へ」舟渡悦夫教授

### アンテナ

横須賀小学校母親教室

富木島中学校体験学習 他

学部生・院生の学会発表状況

### INFORMATION

季刊

大同工大キャンパス

夏季号 2001

JULY



# 7

# 大同学園創立60周年を祝う

## 記念式典

記念式典が5月10日に石井記念体育館において、文部科学省をはじめ各大学・高校、産業界のご来賓630名余をお迎えし挙行了しました。式典後は、中部財界に詳しい城山三郎氏の「企業の盛衰と経営者の人間像」の講演、本学非常勤講師でもある声楽家下垣真希氏の「トークでつづる名曲コンサート」、祝賀会などが開催され盛況のもとで終わることができました。



大同学園創立60周年式典会場



キャンパス見学会



田中大同学園理事長挨拶

## 特別講演会

4月21日、宇宙飛行士で日本科学未来館館長毛利衛氏を迎えた大同工業大学60周年記念特別講演会「ユニバソロジーの世界観」(名古屋市公会堂)に本学学生のほか応募した一般社会人ら1,200名余が集まりました。毛利氏は、宇宙での体験をビデオで紹介しながら、「ユニバソロジー」という言葉を使って宇宙の視点でものごとを考えることの大切さを講義され、「大きさや形というものは相対的なものであることを感じました」と結ばれた。



学内を見学する毛利氏



客席で答える毛利氏

大同学園は中部財界の礎を築いた福沢桃介の意思を継いだ大同製鋼株式会社下出義雄社長が昭和14年1月(財)大同工業教育財団を創設し、甲種工業学校として名古屋市南区道徳新町に産声を上げた。以来、戦前戦後の激動の時代、伊勢湾台風による被害等々、厳しい試練を経ながらも先人達の努力と各界の支援を頂く中、昭和39年4月大同工業大学が開学し、平成11年1月創立60周年を迎えました。



「記念講演」城山三郎氏



祝賀会



オレゴン大学 Jon Moseley 副学長、Tomas Milles 国際関係副学長の両夫妻からお祝いを受ける澤岡学長



「記念ミニコンサート」  
下垣真希氏

## 記念狂言会

5月1日、大同工業大学60周年記念狂言会「仏師・二人袴：野村万作氏他(名古屋能楽堂)に千名からの応募者から抽選に当たった600名余の入場者は、中世のたくましい人間の姿を描いた狂言に笑いが巻き起こり、文化の深遠さを感じ満足していました。



満席となった「狂言会」



# 第36回 宴祭

# Place

5.26 sat · 27 sun 宴の全てがここにある



## 前夜祭



## 本祭



## バザー



## 仮装行列





カジノヘヴン



ボウリング大会



筋肉番付



ヘアーカット



チアリーダー



麻雀大会

演武会



工学展



手話教室



# 後夜祭



占い



第36回 宴祭  
**Place**

5.26sat・27sun 宴の全てがここにある

## おヒゲ様は私の変身

～ 電子情報工学科 井上茂樹教授 ～



## おヒゲが笑った

強面で、ヒゲの就職指導部長として名うでの井上研究室を覗いてみた。大同校舎から引越しまもなく無しの何故か研究室は整然としている。他の研究室では、未だダンボール箱に入ったままになっている研究室が多いなか、ご自慢のヒゲのように整頓されているのには驚いた。「このことは話したくないんだけどなあ」と屈託なく大声でハッハッハッと笑って、「サラリーマン時代では出来なかったことをしたかった」と、日立製作所退職を機にヒゲを生やし（ご本人に言わせるとヒゲはおしゃれの一環だそう）、1998年4月、颯爽と本学にご登場となったのでした。

## 招かざる開発者

1982年、日立家電研究所豊川分室でオーディオ関係の商品開発に携わっていた時に遡る。上司から「CDプレイヤーの開発をするので、君の部下をくれ!」と、突然の要求に、部下を採られたら一巻の終わりにしてしまう。「私もその開発のメンバーとして一翼を担う」と横浜にある研究所に単身でのりこみ、



映像情報メディア事業部時代の井上茂樹教授

招かざる開発者として部下と共に担当することになったのでした。

「また、井上が壊した」、当時一個20万円もするレーザーダイオードを惜しげも無く壊していると思われていた。一号機が完成するが、ディスクの互換性に問題がでた。コロンビア製のディスクとは巧く合うのに何故ソニー製ディスクとは合わないのか、これでは商品として売れない。諦める訳にはいかない。それでも開発チーム一丸となって、難題に立ち向かい日本最初のCDプレイヤーの商品化に成功したのでした。遂に、アナログからデジタル化への尖兵にマスコミ各社はセンセーショナルな出来事として報道したんだ。当時は、日立とソニー2社のみが市販され18～20万円していたんだ。今では、電気店からあの黒いレコード盤を使うプレイヤーの姿はもう消えた。

## こんなことで、金になった

今では、この時出願したCDプレイヤーの特許が活躍し、お金になっているんだよね。その稼ぎ頭になっているのが「ディスク再生装置の保護法式」と言う特許で、レーザー光とCDとの読み取り場所を正しい位置に決めてくれる自動焦点装置に関する特許。もし、CDを間違えて反対方向に差し入れたらした場合に、飛び出してくるだろう。正しい位置にセットしたり、間違っていれば、撥ねたりする装置に関するものなんだけどそれが凄いな。そうそう、日立ではウン10億円も稼いでいるんだって。お陰で日立から推薦を受けて、発明協会から「関東地方発明表彰 発明奨励賞」を1989年10月、1992年10月、1996年11月の3回に亘って表彰を受けたんだ。「何、そんなものが発明?」と云う内容だよと、ご謙遜されておヒゲが笑った。CDを開発する前に取った特許では、「タイマー装置」があるんだ。一般的に使われているタイマー全て該当するんだ。今のタイマーは時間をセットしてもスイッチ

は入るだろう。以前は、セットした時間にならないとスイッチが入らなかったんだ。周りの仲間達は「そんな当たり前で恥ずかしいものは止めどけ」と云われたが、「誰も出していないから」と云って特許を申請したら、金になったんだって。

## ドイツFTZ規格の誤りを正す

1981年当時、日本のオーディオメーカーは欧州方面に輸出してはいたが、新しく施行されたドイツのFTZ規格を満たさないためにFMステレオレシーバの輸出が出来なくて右往左往していたことがあったんだ。豊川の工場長から「イノさん何とかならないか」といわれ、「ドイツの規格は理論的には実現不可能」とFTZ規格の誤りを論文にまとめ、日本工業協会を通じてドイツ郵政省にかけあって半年ほどのやり取りの後、この指摘が認められてドイツ官報に規格を改正する通知が載ったんだ。各社家電メーカーは1年余に亘る難局を打開でき、一斉に輸出が再会されたことは言うまでも無い。その時の論文オリジナルは紛失したけど、先日そのコピーをコロンビアの技術者が大事に持っているのを見つけ、20年ぶりに再会を果たしたそう。

## お金に関わった研究者

真実を極める研究者の一面と、金に関わるビジネスの経験を生かして、今後は専門分野である「通信」関係のお金になる研究ができたかと思っているんだ。

地上波テレビ放送各社は、2003年から放送してきたアナログ放送からデジタル放送に変わる。信号の伝送はどうなるのか、「ミニ放送局を作り、コンピュータ上でシミュレーションするんだ。」おヒゲ様は考えているぞ。ヒゲで、いや違う外観だけで勝手な判断しちゃいけないって、偉い方が言ってたよね。大変勉強になりました。

## 文部科学省「平成13年度 科学研究費補助金」採択状況

平成13年度の科学研究費補助金の採択が決定しました。  
科学研究費補助金は、人文・社会科学から自然科学まであらゆる分野における優れた独創的・先駆的な学術研究を進展させることを目的とする国の研究助成費です。  
本学の採択件数は、昨年度より2件少ない19件25,200,000円でした。

研究種目	種別	継続	所属部門	研究代表者	研究課題	交付額
基盤研究B	一般	継	電気電子	神保 睦子	磁性人工格子をベースに用いたホットエレクトロントランジスタに関する研究	1,100,000
基盤研究B	一般	継	機械	中島 浩衛	省エネルギー熱間加工における金属材料の組織の予測と最適制御	900,000
基盤研究B	展開	継	電子情報	藤田 順治	高効率マイクロ波放電プロセスによる機能性薄膜形成	5,100,000
基盤研究B	海外	継	都市環境デザイン	下島 栄一	西オーストラリア半乾燥地域での蒸発・降雨・塩類集積の関係に関する観測的研究	3,700,000
基盤研究C	一般	継	建築	五島利兵衛	フリーハンド応用工法の再現とリブ・ヴォールトのルーツ解明	400,000
基盤研究C	一般	継	電気電子	堀尾 吉巳	反射高速回折電子分光法の開発と結晶表面構造・形態研究への応用	400,000
基盤研究C	一般	継	機械	青山 正治	高強度・高靱性オーステンボール状黒鉛鉄の耐環境材料への適用に関する研究	500,000
基盤研究C	一般	継	一般数学	多田 俊政	開リーマン面の理想境界の研究	900,000
基盤研究C	一般	継	情報機械システム	西堀 賢司	超音波モータを指にもつロボットハンドのPWM把持力制御	1,000,000
基盤研究C	一般	継	電子情報	坂 貴	高スピン偏極電子を用いてスピン・フィルターの基礎研究	800,000
基盤研究C	一般	継	都市環境デザイン	舟渡 悦夫	紛争を伴った迷惑施設の創発的環境条件に関する実証的研究	500,000
基盤研究C	一般	継	電気電子	岩間 三郎	粒径制御したゲルマニウム・ナノ粒子膜の発光特性	1,000,000
基盤研究C	一般	継	都市環境デザイン	堀内 将人	堀川水質への下水処理放流水の影響評価と汚染物質の河川中動態に関する研究	900,000
奨励研究A	一般	継	都市環境デザイン	棚橋 秀行	メンブランフィルターを用いた油水分離式カラム試験装置・保持特性試験装置の開発	400,000
奨励研究A	一般	継	建築	光田 恵	高齢者施設における臭気の評価・管理手法に関する研究	600,000
基盤研究C	一般	継	都市環境デザイン	水澤 富作	橋梁スラブの衝撃応答に伴う衝撃音の伝播特性に関する基礎的研究	1,900,000
基盤研究C	一般	継	都市環境デザイン	下島 栄一	半乾燥地域での地面蒸発・降雨と塩類集積の消長の関係	2,400,000
基盤研究C	一般	継	一般保健	服部 洋兒	女性労働者の筋骨格系障害軽減を目指した人間工学的研究	1,700,000
学術と書	一般	継	一般人文社会	渡辺 博明	スウェーデンの福祉制度改革と政治戦略 - 付加年金論争における社民党の選択	1,000,000
合 計						25,200,000

## 平成12年度 受託研究・ 奨学寄付金 受入状況

昨年度の共同研究、受託研究、奨学寄付金の受入状況は、11年ぶり11件増えて42件33,370,140円となりました。



企業等名称	金額	種類	件数
株式会社イムラ材料開発研究所	1,000,000	受託研究	1 中島浩衛教授
社団法人鋼材倶楽部	400,000	奨学寄付	1 酒造敏廣教授
澤岡昭	4,000,000	奨学寄付	1 澤岡昭学長
三興石油株式会社	1,000,000	受託研究	1 山内五郎教授、中島浩衛教授
情報ストレージ研究推進機構	2,500,000	奨学寄付	1 神保睦子助教授
新日本製鐵株式会社技術開発本部鉄鋼研究所	500,000	受託研究	1 中島浩衛教授
新日本製鐵株式会社君津技術研究部	1,000,000	受託研究	2 小森和武助教授
株式会社シンプレックス	100,000	奨学寄付	1 烏野寿章助教授
大同特殊鋼(株)技術開発研究所	10,500,000	受託研究	11 山本俊彦教授、井上孝司講師、土田豊教授、中島浩衛教授、小森和武助教授、太田福男教授、草加勝司教授、神保睦子助教授、岩間三郎教授、藤田順治教授、遠藤敏夫教授
大同特殊鋼(株)新分野開発センター	750,000	共同研究	1 小野宗憲教授
大同特殊鋼(株)新分野開発センター	750,000	共同研究	1 山内五郎教授
大同特殊鋼(株)技術開発研究所	1,120,140	受託研究	1 山内五郎教授
大太平洋特殊製造株式会社	100,000	奨学寄付	1 岩間三郎教授
株式会社長大	700,000	奨学寄付	2 舟渡悦夫教授
テクノイト株式会社	1,000,000	共同研究	1 山田廣也教授
東亜合成株式会社	600,000	奨学寄付	2 光田 恵講師
東邦ガス株式会社	500,000	受託研究	1 水野義雄教授、高田和之教授
東北大学金属材料研究所研究部	0	共同研究	1 坂 貴教授
財団法人豊田都市交通研究所	400,000	奨学寄付	1 舟渡悦夫教授
株式会社ナガラ	300,000	奨学寄付	1 西堀賢司教授
株式会社ナガラ	600,000	受託研究	1 中島浩衛教授
日本原子力研究所	2,250,000	受託研究	1 酒井陽一教授
日本原子力研究所	0	共同研究	1 酒井陽一教授
株式会社日立製作所鉄鋼システム本部	300,000	受託研究	1 中島浩衛教授
富士ダイス株式会社	500,000	共同研究	1 中島浩衛教授
ヤマハ発動機株式会社	500,000	奨学寄付	1 高田和之教授
ヨーコン株式会社	1,000,000	奨学寄付	1 山本俊彦教授
リコーエレメックス株式会社	1,000,000	受託研究	1 光田 恵講師
合 計	33,370,140		42

# 平成12年度 国際会議・学会等海外出張状況

多くの先生が国際学会発表等に研究出張しました。

学 科	氏 名	国 際 会 議 ・ 学 会 等 名	出 張 先	期 間
電気電子工学科	高田和之教授	韓国2000人間工学シンポジウムでの発表	大韓民国 / 慶州ヒルトン H	4月21日～23日
一般教養・保健体育教室	水野義雄教授	13th Humans in Space Symposium における論文発表	ギリシャ・パリ / サントリーニ	5月19日～30日
建築学科	佐藤達生教授	IASS 国際シンポジウムでの論文発表	トルコ / イスタンブール	5月27日～6月2日
情報機械システム工学科	杉浦正勝教授	第9回アメリカ実験力学国際会議研究発表	アメリカ / オーランド、フロリダ	6月3日～11日
機械工学科	和田 均教授	Asia Pacific Symposium on the Advances in Engineering Plasticity and its Applications ( AEPA2000 )における論文発表	中華人民共和国、香港 / 香港大学	6月11日～16日
建築学科	稲垣卓造教授	トルコの街並み調査(日本建築学会・色彩評価 SWG 内の作業)	トルコ / アンカラ、イスタンブール	6月17日～24日
応用電子工学科	和田隆夫教授	International workshop on Defect Engineering of Advanced Semiconductor Device において口頭論文発表とポスター論文発表	スウェーデン / スtockホルム	6月22日～7月4日
電子情報工学科	藤本博助教授	International workshop on Defect Engineering of Advanced Semiconductor Device	スウェーデン / スtockホルム	6月25日～7月2日
一般教養・化学教室	酒井陽一教授	マスパワー効果の工学反応国際シンポジウムにおける論文発表	アメリカ / バージニアビーチ市	8月12日～22日
情報機械システム工学科	藤井省三教授	The 4th Asia-Pacific Conference on Control & Measurement of Academic Comunittee への出席と論文発表	中華人民共和国 / 桂林	8月12日～22日
電子情報工学科	三品善昭教授	INTERNOISE2000(国際騒音制御工学会)における論文発表	フランス / ニース	8月22日～9月1日
都市環境デザイン学科	嶋田喜昭講師	パース、メルボルンの総合都市交通システムの調査(特にメルボルン市当局への訪問)	オーストラリア / パース、メルボルン	8月24日～31日
一般教養・人文社会教室	渡辺博明講師	資料収集	スウェーデン / スtockホルム	8月25日～9月3日
電子情報工学科	藤田順治教授	中国科学院合肥等離子体物理研究所及び中国科学技術大学における見学と視察、討論	中国 / 合肥	8月27日～9月4日
電子情報工学科	坂 貴教授	E.C.M.19-Satellite-Meeting "Surface Crystallography"、アリン・ポアンカレ大学でのスピン偏極電子線の応用についての討論	フランス / アンリ・ポアンカレ大学及びナンシー会議場	8月29日～9月8日
電気電子工学科	近藤芳孝教授	8th International Conference on Gas Discharges and their Applications 3-8 September 2000	イギリス / University Of Strathclyde	8月31日～9月9日
情報機械システム工学科	小森和武助教授	The 8th International Conference on Metal Forming 論文発表、ECCOMAS2000論文発表	ポーランド / クラク市、スペイン / バルセロナ市	9月2日～17日
情報機械システム工学科	大嶋和彦助教授	4th IFAC International Symposium on Intelligent Components and Instruments for Control Applications (SICICA2000) 14a. Expositon de Instrumentos y Sistemas de Control,	アルゼンチン / ブレノスアイレス市、ブラジル / サンパウロ市	9月10日～21日
機械工学科	井上孝司講師	The 5th International Conference on Progress of Machining Technology	中華人民共和国 / 北京市	9月15日～21日
機械工学科	土田 豊教授	International Workshop on Ecology and Economy in Manufacturing 2000 論文発表、アーヘン工科大学と国際共同研究の討議と国際交流センター表敬訪問	オーストリア / ウィーン、ドイツ / アーヘン工科大学	9月15日～24日
建築学科	山本俊彦教授	American Concrete Institute / Korea Concrete Institute 2000 International Conference	韓国 / ソウル	9月18日～23日
都市環境デザイン学科	下島榮一教授 堀内将人教授	西オーストラリア半乾燥地域での蒸発・降雨・塩類集積の関係に関する観測的研究	オーストラリア / パース	9月25日～10月8日
一般教養・人文社会教室	服部文彦助教授	Bologna nell'eta di Carlo Ve Guicciardini 国際会議への参加	イタリア / ボローニャ	10月16日～24日
機械工学科	青山正治教授	2nd International Symposium on Designing, Processing and Properties of Advanced Engineering Materials ( ISAEM-2000 )	中国 / 桂林市	10月19日～23日
都市環境デザイン学科	下島榮一教授	Hydro2000出席及び情報収集	オーストラリア / パース	11月16日～26日
機械工学科	中島浩衛教授 土田 豊教授 井上孝司講師	ICMA-Asia2000国際会議における論文発表	中華人民共和国 / 上海市	11月21日～26日 11月22日～26日 11月22日～26日
建築学科	佐藤達生教授	ハギア・ソフィア大聖堂の学術調査のため	トルコ共和国 / イスタンブール、アヤ・ソフィア博物館	12月23日～1月9日
建築学科	五島利兵衛教授	ケルン大聖堂屋根裏調査	ドイツ / ケルン	1月5日～13日
電気電子工学科	神保睦子教授	2001 Joint MMM/Intermag Conference で論文発表	アメリカ / サンアントニオ	1月7日～13日
都市環境デザイン学科	堀内将人教授	西オーストラリア半乾燥地域での蒸発・降雨・塩類集積、重金属集積に関する調査研究	オーストラリア / パース	1月7日～15日
都市環境デザイン学科	下島榮一教授	西オーストラリア半乾燥地域での蒸発・降雨・塩類集積の関係に関する観測的研究	オーストラリア / パース	3月10日～21日



ゴール前 写真左から大同工大、静岡大、名工大、富山国際大のボート)

### 漕艇部

## 中部学生ボート選手権大会 総合3位 シェルフォア種目3位入賞

中部学生ボート連盟主催の第33回中部学生選手権大会(16大学88クルー、)が6月29日、7月1日の両日、中川運河ボートコース(1000m)で開催され、総合3位入賞を果たしました。第46回中日本レガッタ(6月9・10日)、種目シェルフォア(99M上原・99M伊藤・99E柿沢・99E原・00M鳥山)は、圧倒的な強さで予選を勝ち抜き準決勝戦へ進出したが、精神的な弱さが露呈し涙を呑んだ。雪辱に燃えるクルーらは、連日の猛練習を経て大会に挑んでの決勝戦、レーン抽選結果は、河幅が狭いコースを考慮すれば1レーンが有利、残念ながら3レーンとなり嫌な予感。天候は晴れ、横風が強く水面は三角波が立ち最悪なコース状態。4クルー横一線のスタートを切る。ハーフの500m静岡大艇が一艇身遅れ、富山国際大艇、名古屋工業大艇、大同工大艇がほぼ横一線。残り200m横風が吹き荒れる。名工大艇が本学艇のレーン侵害、予感的中、審判艇が名工大艇に大声で注意、本学艇と接触寸前、本学艇が接触を回避するために舵を切る。瞬時に名工大艇と半艇身の差がつく、万事休す。

ダブルスカル種目(20クルー)に出場した1年生クルー(01J安藤・01E石丸)は、初出場ながら決勝戦に進出し4位入賞を果たして総合3位入賞の原動力となりました。

**シェルフォア** 優勝 富山国際大、2位 名古屋工業大、3位 大同工大、4位 静岡大  
**ダブルスカル** 優勝 富山国際大、2位 岐阜経済大、3位 愛知工業大、4位 大同工大  
**シングルスカル(99E本田)** 予選3位  
**ナックルフォア** タイムレース4位以下

### ハンドボール部

## 東海学生春季リーグ戦(2部)優勝 待望の1部昇格を決める

4月15日から開幕した東海学生春季リーグ戦で、前年度の好調さを持続させて優勝を果たしました。5月19日に行われた1部との入れ替え戦においても、名古屋学院大に圧勝し1部昇格を決めました。



### 春季2部リーグの結果

大同工大	33 - 14	名古屋工業大
大同工大	23 - 9	名古屋経済大
大同工大	39 - 10	豊橋技術大
大同工大	27 - 16	岐阜大
大同工大	26 - 11	豊田工業高専
大同工大	37 - 9	滋賀大

### 入れ替え戦

大同工大	24 - 12	名古屋学院大
------	---------	--------

### 5/20西日本インカレ出場決定戦

大同工大	15 - 12	愛知教育大
------	---------	-------

## 東海学生新人戦で連勝止まる

6月3日から開幕した東海学生新人戦で優勝を狙った2年生チームは、創部以来、東海学生リーグでは負け知らずの21連勝でしたが中京大学に惜敗しました。それでも、1年生チームは決勝戦に進出し名城大学に敗れはしたが準優勝を果たしました。

01C 草原智也君が「男子日本代表U-19欧州遠征」メンバーに選ばれ、スウェーデン、デンマーク(6月27日~7月14日)に遠征することになりました。



草原智也君

### 新人戦の最終結果

準決勝 大同工大1年 21 - 20 岐阜大1・2年  
決勝 大同工大1年 8 - 21 名城大1・2年

### バレー部

## 東海バレーボール春季1部リーグ 創部初の4位に躍進



4月14日から5月13日にかけて開催された東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会で創部初の4位入賞を果たす大健闘しました。

99M 西久保亮太君が「西日本大学バレーボール5学連選抜対抗戦」の東海代表選手として、福岡市(8月29日~31日)で開催される大会に出場することになりました。



西久保亮太君

### 春季1部リーグの結果

大同工大	0 - 3	愛知学院大
大同工大	3 - 2	愛知大
大同工大	2 - 3	中京大
大同工大	3 - 1	名城大
大同工大	0 - 3	愛知教育大
大同工大	3 - 0	朝日大
大同工大	3 - 0	名古屋大

### 上位リーグ戦

大同工大	0 - 3	愛知学院大
大同工大	1 - 3	愛知大
大同工大	1 - 3	中京大





## レーシングカート部

### JAF公認SL瑞浪シリーズで磯貝君大健闘

4月23日瑞浪レイクウェイで開催された2001 SL KART RACE( JAF 公認 )第3戦は、昨年12月の最終戦3位の好調さを持続させて、タイムトライアル1位となり、ポールポジションを獲得。3位入賞を果たしました。つづく5月27日の第4戦では、惜しくも優勝を逃したものの決勝2位に入りました。シリーズランキングも4位に躍進し入賞も目前に迫りました。



磯貝真典君

#### 4 / 23SL瑞浪シリーズ第3戦

99M磯貝真典 F P - 3 決勝3位

#### 5 / 27SL瑞浪シリーズ第4戦

99M磯貝真典 F P - 3 決勝2位

#### 5 / 20 2001鈴鹿選手権シリーズRd3

01伊藤邦彦 PS - PCR 決勝ヒート17位

## 自動車部

#### 4 / 15山室山ダートトライアル第1戦

98M松永祐磨 A2 6位

98M谷池雅司 A3 9位

98A横田昌彦 A3 12位

99E山田和弘 A3 13位

## 剣道部

#### 5 / 13 第48回東海学生剣道選手権大会

99M日比隆太郎 個人選 2回戦

## マルチメディア マックス部

#### 5 / 13 真・女神転生TCG公認大会

99E加藤 貴 個人 4位入賞

99E大橋正昭 個人 14位入賞

(入賞:18位まで)

00M伊藤錠二 個人 2勝4敗

99D隅本昌広 個人 2勝4敗

99D渡辺英人 個人 1勝5敗

99D大山展弘 個人 3勝3敗

## 空手道部

#### 4 / 30 東海地区大学空手道選手権大会個人戦

98E北川彰一 組手 軽量級ベスト16

98D北野新弥 組手 軽量級2回戦

98E森田知華 組手 女子2回戦

99M廣瀬晴夫 組手 軽量級2回戦

00M箕浦正和 組手 軽量級2回戦

98E森田知華 形 女子8位

00A夏山洋一 形 9位

## バドミントン部

#### 4 / 9 ~ 27 第93回東海大学・第49回東海学生バドミントン選手権大会

98M北村裕一 個人 4回戦

98M清水勇助 個人 4回戦

## 新刊著書を語る

### 運動の神経科学

基礎から応用まで

A5版 252ページ

編集:西野仁雄・柳原 大

著者:水野義雄教授

(一般教養・保健体育教室)

渡辺 悟客員教授

(大学院工学研究科)池

出版社:有限会社 ナップ

発行日:2000. 11.24



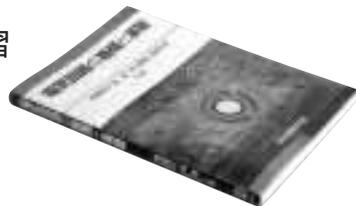
今回の書籍では、渡辺悟客員教授と水野義雄教授が、第1章運動認知における感覚情報処理(2)項、前庭感覚による運動の認知の部分を担当執筆しました。この書籍は、運動と脳との関連についての入門書として書かれています。工学部の学生にとっては興味ないかもしれませんが、工学部で生体情報を活用する分野を目指す学生には、是非とも読んで欲しい書籍です。私たちの担当分野は、ヒトの平衡感覚ならびに姿勢制御です。普段何気なく二足立ちしている私たち、しかし、その立位姿勢を保つためには、目からの情報・足の裏からの情報・耳からの情報など種々の情報が統合され制御システムを構築し、筋肉により実現されているのです。これら複雑な情報入力の中で、特に前庭感覚について、前庭感覚のあらまし、前庭器官の刺激テストと機能、反対の3項目から解説しています。「前庭感覚」、難しいな?と言わないで、一度チャレンジしてください。飛行機を使ったヒトの実験、スペースシャトル内で行われた実験を例に取り説明しました。特に反射については、いろいろな反射が出てきます。こんな反射が我々の身体にあったのか。ヒトのメカニズムの巧妙さに、触れてみませんか。

### 電気回路の基礎と演習

A5版 171ページ

出版社:森北出版社株式会社

発行日:2000. 10.30



著者:



高田和之教授 坂 貴教授 井上茂樹教授 愛知久史助教授  
(電気電子工学科)(電子情報工学科)(電子情報工学科)(電子情報工学科)

この本は、電気回路理論の初歩について書かれているが、ほかの従来から出版されている書物に較べて、編集方針を著しく異にしている。それは、

1. 左側ページと右側のページとで、1つの項目をまとめている。しかも、それらが双対性の概念で対比され、左右を対比しながら学ぶと系統的に学習できるようになっている。そのため、学習者の負担が極力軽減するよう配慮してある。
2. 前半を直流回路理論とし、電圧電源のほか、その双対としての電流電源を用いることにより、回路解析が極めて簡単にできることを示した。
3. 直流回路において、回路理論のほとんどの事項が学習できるため、初学者にとっては理解しやすく、交流回路を学ぶ段階になっても、直流回路と同じ方法論をとることで、内容の理解・展開が容易となる。
4. 交流回路では、難解とされる相互誘導については、ブリッジ回路と結びつけることで例題をとってその取り扱いを学び、いさかも難解でないことが理解できる。また、フェーザ軌跡についても、フェーザ軌跡をもちいると回路解析がいかに容易であるかが理解できるようになっている。
5. 学習者の勉学の便を考慮して、理論の内容を具体的に、ただちに確認することができる構成としている。そのため、理論の導出過程の詳細は避け、理論の活用に重きをおいている。



## ビタミン X 君へ

都市環境デザイン学科教授

舟渡悦夫

クロッケ1つが5円のときの話です。小学校3年まで住んでいた家が、田んぼの中のこうば(製材所)にあったので、遊ぶ相手は隣に住んでいた同級生のタケちゃんが主でした。遊び始めは仲良く遊び、途中で喧嘩して泣いて帰ってくる。その次の日も似たような繰り返し。遊ぶ中身は子供らしい物もあれば、大人から怒られ電信柱に縄で括られるような物まで色々でした。ある日、タケちゃんは引っ越していった。両親が離婚したのがその原因でした。その当時は、何でいなくなったんだと一人しよげていました。

新しい友達を探さなければしょうがない。こうばのすぐ南に製紙工場の社宅があり大勢の子供がいたが、通学団が違うし何となく金持ちの子が多く馴染めなかった。同じ通学団の子は歩いて10分ぐらい離れた町なかになり、毎朝途中で拾われて学校へ行くという具合でした。その町の子は学年の上から下までみんな一緒に遊んでおり、仲間に入れてくれないかなあと思うものの、なかなかそのチャンスは訪れませんでした。

伊勢湾台風が中部地方を襲った年、私の家族はこうばを離れ現在の地に移り住みました。家を変わってすぐに台風に見舞われるという不運はありましたが、今日まで40年間以上住みつづけています。小学校4年の始め移住したわけですから、周りには友達がいません。さらに、新しい家の目の前に別の小学校

がありました。私は色々な事情がありもとの小学校に30分以上かけて通学していました。途中町の中心部を通過したほうが早いのですが、通学団の関係で畑の中を遠回りして通学するのです。その頃の夢に、家の前から小学校までまっすぐな道があればいいなというものがあります。私が今、交通工学や都市計画を専門にしているのは、ヒョッとするとこれに通底するものがあるのかもしれない。

こうなると、友達と遊ぶといっても、毎日ちょっとした遠足をするぐらいの距離がかかります。その頃の遊びの中心は野球でしたが、一人では遊べません。日曜日、目の前の小学校でひとりボール投げをしていると、この学校の子らが胡散臭そうに私を見て、おまえどこのヤツだということになります。事情を説明するのが面倒で、その場の空気を察して帰ることが多かったのですが、たまには一緒にやるかと声をかけてくれる子もいて、少しは一緒に遊びました。そのとき出会った1学年下のXとは、その後ずっと付き合い間柄となりました。後年、Xがなぜ私にやさしい言葉をかけてくれたのかを聞いたとき、彼は「お前が一人て寂しそうだったから」といっていましたが、実はXの方が友達を求めていたのだと気づくまでそう時間はかかりませんでした。

中学、高校時代におけるXとの付き合いは特別と云うほどのものではありませんでしたが、大学に進んでから非常に親密なものとなりました。私が一浪して福井に行き、卒業する年にやっと京都の大学に入ったわけで、Xはその間3浪もしています。浪人の期間、Xにとって私との付き合いは大きな楽しみであったようで、大学では何をやっているんだ、先生はどうだ、面白い友達はあるのかなど、色々なことを話したと思います。Xが大学1年のとき、失恋の旅と称し福井を訪ね、私の同級生を煙に巻いて帰ったことがありました。Xは大変貫禄があり、私の同級生皆がXのことを「Xさん」と年上扱いで話をするので私



もそのまましばらく調子を合わせましたが、さすがに最後は正体がばれ、Xは皆に平謝りしていました。Xは文学部に属しており、私は中国語の授業を偽学生として一度聴いたことがあります。もし先生が私に何か質問したら、彼が援護することになっていましたが、先生の方で気を利かしたのか何事もなく終わりました。

Xの他にも大切な友人がいます。友とは私にとって何なのか。簡単そうで難しいテーマです。今の私にとって一番大事な人は誰かと聞かれると、さっと答えることが出来ませんが、敢えて記すと以下の様になります。妻、子供、両親、兄弟姉妹、ここまでは親族であり、この次にやっと友人Xが出てくる。この大切な友X(ほぼ同年代)は何人いるかというと、小中学校では2人(イニシャルで示す：O、R)、高校で2人(S、P)、大学で6人(S、A、B、S、I、Y)、大学院で3人(M、M、W)、留学先で3人(T、G、U)、その他で2人(T、F)と計18人となる。このうち、昨年何人のXに会ったかという、半数の9人(0、0、2、2、3、2)となり、最近知り合った者(といっても、皆20年以上の付き合いだが)とよく会っている。距離的な問題は非常に大きく、遠方にいるXと会うときは、日程調整が欠かせない。それでも、チャンスさえあれば断固として会いたいのです。

妻に言わせれば、ほとんどビョーキという事になる。会って何をするかといえば、酒を飲み、近況を知り、昔を語り、将来を話すという至極普通の会話であります。その時間が楽しいというだけの事かもしれませんが、これが私にとって、こころのビタミンとしての効果があるのです。したがって、時々ビタミンX君に会って、こころの体調を整えているのです。しかし、昨年5年ぶりに会ったビタミンI君の効力が減退していたということも当然起こります。そうすると、今度はビタミンS君と会いたが、Sに会ったとき、逆にSから私の効力低下を嘆かれないように、こちらも多少の精進を心がけているのであります。



## 横須賀小学校母親教室

6月12日(火)、東海市立横須賀小学校のPTA役員(母親)の皆さん20名の方が情報教育センターでIT講座「やさしいパソコン教室」を受講しました。初めてパソコンに触れる方が多く、そのためにマウスの使い方から、インターネットの利用、オリジナルカレンダーの作成まで、午前10時から午後2時までの3時間の講習に、お母さん方は熱心に受講され、予定時間も大幅に延長しました。また、自分で作ったカレンダーの出来栄に満足していました。



## 富木島中学校体験学習



東海市立富木島中学校3年女子生徒の6名(安藤淑乃さん、宇都宮千夏さん、長谷川みゆきさん、堀崎珠佳さん、森麻梨子さん、吉田亜未さん)の皆さんが、「学校取材活動」で、関谷電気電子工学科研究室に6月27日(水)訪れ

ました。熱血研究室訪問インタビューを受けた関谷教授、卒研生らは、「熱血先生の印象、どうしてこの大学を選んだか、卒業後はどんな職に就くか」等の鋭い質問に冷や汗を掻きながらインタビューを受けていました。また、卒研生から「大学に進学しますか」との質問に女子生徒らは一瞬戸惑う場面もありましたが、終始、和やかな雰囲気体験学習を終えることができました。

後日、六人の生徒さんからお礼の手紙に「勉強は嫌いだから大学に進学したくないと思っていたけれど、おかげで夢と大学について真剣に考えるようになりました。」とお礼の手紙が届きました。この「学校取材活動」は、様々な「学びの場」を見学し、「夢」を実現させるために教える人、学ぶ人の話を聴くことにより、自分の「生き方」を考え、生きる力を育てるために昨年度から行われています。



## 同窓会だより



第36回(第17期)大同工業大学同窓会総会が、5月26日(土)に本会の寄付事業によって建設された「ゴビーホール」で開催され、提案された議案は全て満場一致で可決されました。

総会終了後は、高層塔の14階ラウンジで懇親会が行われ、

席上、本会の名誉会員田中卓理事長から、新キャンパスの完成並びに学園創立60周年記念式典が無事執り行えたことに謝辞がありました。

また、澤岡学長、小野常務理事を始めとし多数の諸先生方のご出席をいただき、昨年にまして多数のOBが旧交を深めることができました。なお、当日は新キャンパス完成後初の学園祭(宴祭)も開催されており、滝春キャンパスは大いに活気に満ち溢れた日でもありました。(同窓会事務局)

## 体験しよう! 夢いっぱい プラズマの世界

応用物理学会・名古屋市科学館主催、第7回科学と生活のフェスティバル(24大学・企業等研究機関、41ブース)が6月23日、24日の両日、名古屋市科学館で開催されました。小中学校生では「プラズマ」という言葉に馴染みがないにも拘わらず、開催日が土、日曜日とあつてか会場は、朝から親子連れの人達で満員になり、個々の展示コーナーの説明も満足に聞き取れない程の盛況でした。

本学からの近藤芳孝研究室「オゾンの働き」、関谷昌久研究室「電気でチリを集めよう」の展示コーナーに、小中学生の人ばかりでした。近藤教授から「オゾンは毒です」との説明に恐る恐る近寄り子供達。関谷教授の空気清浄装置(電気集じん装置)で煙が一瞬に消える実験に驚いていました。



## 後援会だより

平成13年度後援会定期総会、教育懇談会が5月19日(土)滝春新キャンパスで開催されました。

コピーホールで開催された総会には370名のご父母が出席され、新旧役員との交代をはじめ平成13年度事業議案などが提案どおり承認されました。教育懇談会は、ご父母と教員との個人面談が行われ、学業成績、就職等の学生生活について熱心に相談を受けていました。その後、懇親会が開かれ教員との歓談に大いに盛り上がりしました。

欠席されたご父母の方は是非、各地域で開催される教育懇談会にお越し下さい。(庶務室)



平成13年度 教育懇談会日程表

月 日	会 場 名
9 / 23(日)	愛知・ホテル日航豊橋 (豊橋)
9 / 29(土)	中国・シティホテル広島 (広島)
9 / 30(日)	四国・宝荘ホテル (松山)
	北陸・ホリデイイン金沢 (金沢)
10 / 7(土)	三重・フレックスホテル (松阪)
	近畿・大阪第一ホテル (大阪)
10 / 13(土)	静岡・アソシア静岡ターミナル (静岡)
	岐阜・岐阜キャッスルホテル (岐阜)
10 / 20(土)	長野・ホテルブエナビスタ (松本)
	近畿・ホテルボストンクラブ草津 (滋賀)
10 / 28(日)	静岡・浜松グランドホテル (浜松)
11 / 3(土)	愛知・本学

全体説明 / 10:30 - 個人面談 / 11:40 - 懇親会 / 13:00 - 14:30

# 平成12年度 学部生・院生の学会発表状況

演 題	学 会 名	学生・院生名	指導教員
発電ボイラの脱硝プロセスのモデリングと制御	計測自動制御学会	99MM 山賀 洋和	藤井省三教授
PMMA / AI異材突合せ接着継手の衝撃引張強度評価	日本機械学会東海支部	99MM 鈴木 一生	和田 均教授
場所打ち鉄筋コンクリート杭の曲げせん断挙動に関する実験研究	日本コンクリート工学協会	99B M 新井 元植	山本俊彦教授
場所打ち鉄筋コンクリート杭の耐震性評価に関する研究(その7:曲げせん断実験)	日本建築学会	99B M 新井 元植	山本俊彦教授
場所打ち鉄筋コンクリート杭の実験(その4:曲げせん断実験2)	日本建築学会東海支部	99B M 新井 元植	山本俊彦教授
場所打ち鉄筋コンクリート杭の耐震性評価に関する研究(その3:曲げせん断実験)	日本建築学会	99B M 新井 元植	山本俊彦教授
場所打ち鉄筋コンクリート杭の耐震性評価に関する研究(その4:曲げせん断実験)	日本建築学会	99B M 新井 元植	山本俊彦教授
鉄筋コンクリート円形断面材の曲げせん断挙動に関する研究(その2:曲げせん断実験1)	日本建築学会東海支部	99B M 新井 元植	山本俊彦教授
第二次世界大戦で被災したケルン大聖堂のリップ・ヴォールトについて	日本建築学会	99B M 原田康次郎	五島利兵衛教授
ケルン大聖堂の修復工事について	日本建築学会	98Z D 山田 一郎	五島利兵衛教授
パルスダウンゼント法を用いた電離係数の測定	電気関係学会東海支部	00E M 海野 健一	山田忠比古助教授 近藤芳孝教授
CClF <sub>2</sub> +2イオンの輸送係数	電気関係学会東海支部	99E M 藤澤 立巳	山田忠比古助教授 近藤芳孝教授
窒素・酸素混合気体中における負コロナ放電のオゾン発生特性	電気関係学会東海支部	00E M 高倉 一干 97E 久米 文貴 97E 小林 達男	関谷昌久教授
パルスパワー放電による金属溶射の特性	電気関係学会東海支部	99E M 矢島 稔大	山田忠比古助教授 近藤芳孝教授
微粒子 - R F プラズマの変動	電気関係学会東海支部	99E M 濱 博明	日置義明教授
ホーカソード放電を用いた機械部品の洗浄	電気関係学会東海支部	99E M 今井 俊一	山田忠比古助教授 近藤芳孝教授
F M放送で同一番組を中継送信する場合の干渉妨害に関する研究	電気関係学会東海支部	99E M 森川 剛平	井上茂樹教授
複合音における立ち上がり時間の判別	電気関係学会東海支部	99E M 奥野 誠司	大石弥幸教授
新旧環境基準による達成率について	電気関係学会東海支部	00E M 小倉 敏満	大石弥幸教授 三品善昭教授
有彩色ルーバ照明の計算法の研究 - ルーバ内壁の明度と彩度によるルーバ配光と配光角毎の光の色度への影響 -	電気関係学会東海支部	97E 白木 雅枝 97E 立花 広明	西村政信講師
試料と内壁色が異なる場合の色見え方 - 両眼を独立の順応状態にして主観評価した場合 -	電気関係学会東海支部	97E 清水加奈子 97E 近藤麻夕子	西村政信講師
R F C 翻訳用辞典における専門用語の精密化	電気関係学会東海支部	97E 日榮 雄二 97D 堀 考洋	小川清(名市工研)
R F C の相互関係の調査ツールと特定分野における用語分析	電気関係学会東海支部	97E 堀 考洋 97D 日榮 雄二	小川清(名市工研)
携帯ネットワークシミュレータ設計のための追跡システムに関する調査、研究	電気関係学会東海支部	97D 西村 泰行 97D 阪 智貴	小川清(名市工研)
携帯 I P シミュレータの基本設計	電気関係学会東海支部	97D 阪 智貴 97D 西村 泰行 97D 堀 考洋	小川清(名市工研)
インパルス応答関数による自律神経機能評価法	電気関係学会東海支部	99E M 竹居 秀高	高田和之教授
動脈圧受容体反射のインパルス応答関数による評価	電気関係学会東海支部	99E M 荻原 勝博 00E M 吉田 豊	高田和之教授
ウェーブレット変換による車輪走行時の心拍変動解析	電気関係学会東海支部	99E M 大見 直史 00E M 加藤 巧	高田和之教授
ディスプレイ画面の背景色が生体に及ぼす影響	電気関係学会東海支部	99E M 松岡 孝幸	高田和之教授
一般ドライバーの監査者適性に関する研究	土木学会	99B M 山下 聖真	嶋田喜昭講師 舟渡悦夫教授
住民主体のまちづくりにおける問題構造に関する研究 - 手づくり公園の整備におけるケーススタディ -	土木学会	99B M 萩原 進	嶋田喜昭講師 舟渡悦夫教授
道路安全監査に向けたドライバー情報の活用に関する基礎研究	土木学会	99B M 山下 聖真	嶋田喜昭講師 舟渡悦夫教授
種々のドライバーからみた危険交差点情報の活用について	土木学会	99B M 大嶽 教匡	嶋田喜昭講師 舟渡悦夫教授
高速道路の S A P A を活用した地域づくりの意識と動向に関する研究	土木学会	00B M 山本 桂路	嶋田喜昭講師
山地河川小流域での水収支について	土木学会	99B M 尾崎 龍平	下島榮一教授
球状黒鉛鋳鉄における熱間加工性の支配因子	日本鑄造工学会	98MM 前田 崇	土田 豊教授
浸炭窒化焼入れ材の疲労特性に及ぼす硬さと残留応力の影響	日本鉄鋼協会	00MM 石田 将也	土田 豊教授
Cr節約型ステンレス鋼の耐食性と再結晶	日本鉄鋼協会	99Z D 樋尾 勝也	土田 豊教授
積層型圧電素子のセルフセンシング・アクチュエータとしての特性調査	日本機械学会東海学生会	97M 熊田 圭祐	大嶋和彦助教授
生活環境の中においてに対する居住者の意識に関する研究	日本建築学会東海支部	97A 安達 武宗	光田 恵講師
住居内の臭気に対する対応策に関する研究(その1:タバコ臭に対する対策)	日本建築学会東海支部	97A 中尾 成孝	光田 恵講師
住居内の臭気に対する対応策に関する研究(その2:生ごみ臭に対する対策)	日本建築学会東海支部	96A 井上 憲治	光田 恵講師
電車内においてに対する意識に関する調査研究	日本建築学会東海支部	97A 赤堀 圭吾	光田 恵講師
新旧環境基準による達成率の比較	日本音響学会	00E M 小倉 敏満	三品善昭教授
新旧環境基準の達成状況と住民反応との比較	騒音・振動研究会	00E M 小倉 敏満	三品善昭教授
円周方向に変厚な扇形 Mindlin 板の振動解析	土木学会	97C 木村 健一	水澤富作教授
Differential Quadrature 法を用いた変厚直交異方性板の振動解析	土木学会	97C 滝沢 宣人	水澤富作教授
An Application of Computer Image-processing to Nickel Foil Strain Gages	the2000SEM	99MM 小川 佳紀	杉浦正勝教授
ニッケル箔ひずみ計に対する画像処理の適用	日本機械学会	99MM 小川 佳紀	杉浦正勝教授
摩擦攪拌を利用した工業用純アルミニウムの組織微細化	軽金属学会	00MM 玉木 崇晴 00MM 駒谷 武史	山内五郎教授
摩擦攪拌を利用した工業用純アルミニウムの組織制御	軽金属学会	00MM 駒谷 武史 01MM 玉木 崇晴	山内五郎教授
回転式 E C A P 法で処理したマグネシウム合金の超塑性	軽金属学会	00MM 長瀬 正和	西田義則 連携大学院教授
板材の増肉加工に関する基礎的研究	塑性加工春季講演会	99MM 三浦 規彦	小野宗徳教授
深絞り円筒カップ側壁部の増肉変形解析	塑性加工春季講演会	99MM 三浦 規彦	小野宗徳教授 中島浩衛教授

演 題	学 会 名	学 生・院 生 名	指 導 教 員
有限要素法による電動機固定子鉄心の固有振動解析の場合の巻線の縦弾性係数	大同工業大学紀要	00MM 山脇 久志	糸見和信教授
インパルス応答関数による自律神経機能評価	大同工業大学紀要	99EM 竹居 秀高 99EM 荻原 勝博	高田和之教授
実車走行実験に基づく心拍変動時系列を用いた車輛運転時の眠気推定	大同工業大学紀要	99EM 松岡 孝幸	高田和之教授
長距離運転時における生体負担度の心拍変動時系列による評価	大同工業大学紀要	99EM 大見 直史	高田和之教授
Incone1718の静的再結晶(Ni基耐熱合金のプロセスモデリング)	塑性加工学会	00MM 中澤 卓也	土田 豊教授
インパルス応答関数による自律神経機能評価	電気関係学会東海支部	99EM 竹居 秀高	高田和之教授
インパルス応答関数による動脈圧受容体反射評価法	日本人間工学会東海支部	99EM 荻原 勝博 00EM 吉田 豊	高田和之教授
インパルス応答関数を用いた自律神経機能評価	生理工学シンポジウム	99EM 竹居 秀高 99EM 荻原 勝博	高田和之教授
インパルス応答関数を用いた自律神経機能評価指標の検討	日本人間工学会東海支部	99EM 竹居 秀高	高田和之教授
ウェーブレット変換による長距離運転時の心拍変動解析	MEとバイオサイバネティクス研究会	99EM 大見 直史	高田和之教授
コンピュータ作業時の背景色が生体に及ぼす影響	日本人間工学会東海支部	99EM 松岡 孝幸	高田和之教授
コンピュータ作業時の背景色が生体に及ぼす影響の解析	生体・生理工学シンポジウム	99EM 松岡 孝幸	高田和之教授
心拍・血圧時系列を用いた圧受容体反射評価法の検討	MEとバイオサイバネティクス研究会	99EM 荻原 勝博 99EM 竹居 秀高	高田和之教授
心拍変動時系列による血圧値評価	日本人間工学会	99EM 荻原 勝博	高田和之教授
心拍変動時系列による車輛運転時の生体負担度評価	日本人間工学会東海支部	99EM 大見 直史 00EM 加藤 巧	高田和之教授
心拍変動時系列のウェーブレット解析による長距離運転時の生体負担度評価	電気学会・情報・システム部門大会	99EM 大見 直史	高田和之教授
生体信号処理へのウェーブレット変換適用方法の検討	日本人間工学会東海支部	00EM 加藤 巧 99EM 大見 直史	高田和之教授
多次元自己回帰モデルによる心拍・血圧時系列解析	日本人間工学会東海支部	00EM 吉田 豊 99EM 荻原 勝博	高田和之教授
多次元自己回帰モデルによる動脈圧受容体反射の評価法	MEとバイオサイバネティクス研究会	00EM 吉田 豊 99EM 荻原 勝博	高田和之教授
自己回帰モデルによる動脈圧受容体反射機能検査法	電気学会	99EM 荻原 勝博 99EM 竹居 秀高	高田和之教授
シミュレーションによる生体信号へのウェーブレット変換適用方法の検討	電気学会	00EM 加藤 巧 99EM 大見 直史	高田和之教授
磁性流体の移動を利用したトルク伝達可変制御	日本機械学会	99MM 酒井 祐一	西堀賢司教授
単相入力によるマイクロロボット用超音波モータの駆動特性	日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会	99MM 坂口 朋也	西堀賢司教授
磁性流体アクチュエータを用いたロボットアーム	日本機械学会	99MM 酒井 祐一	西堀賢司教授
P S Dを内蔵した触覚センサ付ロボットハンドの把持特性	日本ロボット学会	00MM 佐藤 康一	西堀賢司教授
磁性流体アクチュエータを用いたロボットアーム(駆動特性と力制御)	日本機械学会東海学生会	97M 橋本 淳 97M 下田 光馬	西堀賢司教授
ロボットフィンガ用超音波モータの単相駆動特性	日本機械学会東海学生会	97M 久野 祥正 97M 石原 寛子	西堀賢司教授
Switching Characteristics of Torque Transmission Utilizing Movement of Magnetic Fluid	I E C O N	19402 飯田 健一	西堀賢司教授
平行2円板入口部の対向する自然・強制共存対流熱伝達	化学工学会	99MM 森 寛理	中村 肇教授
RHEEDによるCaF <sub>2</sub> /Si(111)成長の基板温度依存性	日本物理学会	99EM 佐藤 誓一	堀尾吉巳助教授
CaF <sub>2</sub> /Si(111)の表面形態	表面物理学会	99EM 佐藤 誓一	堀尾吉巳助教授
改良型エネルギーフィルターRHEED装置の製作	表面物理学会	00EM 原 朋尚	堀尾吉巳助教授
Si(111)及びMgO基板表面上のTiO <sub>2</sub> 成長	表面物理学会	00EM 原田 秀之	堀尾吉巳助教授
重金属を中心とした堀川の水質汚染機構に関する調査的研究	土木学会中部支部研究発表会	00BM 久保田智大	堀内将人助教授
鋳造法による伝統技術のものづくりへの展開	東海Y F E・学生フォーラム	00MM 北原 大和	青山正治教授
鋳造法による伝統技術のものづくりへの展開	日本鑄造工学会東海支部	00MM 北原 大和	青山正治教授
鉄鋼材料の熱間塑性流動応力の加工硬化および加工軟化特性の定量化と炭素量の影響	塑性加工春季講演大会(H12)	98MM 伊藤 公一	中島浩衛教授
加工硬化と動的回復特性を考慮した鉄鋼材料の熱間塑性流動応力の高精度モデリング	塑性加工春季講演大会(H12)	98MM 伊藤 公一	中島浩衛教授
薄板材料の形成試験法の違いによる形成限界FLD特性	塑性加工春季講演大会(H12)	98MM 田中 昭徳	中島浩衛教授
薄板材料の修正加工硬化指数を考慮した形成限界(FLD)の理論的モデリング	塑性加工春季講演大会(H12)	98MM 田中 昭徳	中島浩衛教授
アルミニウム合金材の冷間圧延における圧延負荷特性とロール表面特性への水溶性潤滑剤の影響	塑性加工春季講演大会(H12)	99MM 佐々木 豪	中島浩衛教授
1ステップFEMによる金型設計のプレス成形性シミュレーションと実際との比較	塑性加工春季講演大会(H12)	99MM 吉里 好史	中島浩衛教授
アルミニウム合金材料の冷間圧延におけるPTFE潤滑剤のトライボロジー特性	塑性加工春季講演大会(H13)	99MM 佐々木 豪	中島浩衛教授
アルミニウム合金薄板の冷間圧延におけるロール表面のトライボロジー特性	塑性加工春季講演大会(H13)	99MM 佐々木 豪	中島浩衛教授
薄鋼板の角筒絞り成形における1ステップFEM解析による成形難易評価	塑性加工春季講演大会(H13)	99MM 吉里 好史	中島浩衛教授
鉄鋼材料の熱間据込み加工におけるマイクロ組織予測のためのFEM連成解析とモデリングの検証	塑性加工春季講演大会(H13)	00MM 小田 洋	中島浩衛教授
薄鋼板の浅絞り成形における1ステップFEM解析による形状性の評価	塑性加工春季講演大会(H13)	00MM 真野 元希	中島浩衛教授
Nb含有A1-B処理鋼の直接焼入れ後の焼入れ硬さにおよぼすN量の影響	日本鉄鋼協会	99MM 浅田 英雄	中島浩衛教授
アルミニウム合金材料の冷間圧延における圧延潤滑剤のトライボロジー特性	日本鉄鋼協会	99MM 佐々木 豪	中島浩衛教授
1ステップFEM解析による角筒絞り成形性の評価	日本鉄鋼協会	99MM 吉里 好史	中島浩衛教授
鉄鋼材料の熱間加工におけるマイクロ組織予測のためのモデリング検証	日本鉄鋼協会	00MM 小田 洋	中島浩衛教授
1ステップFEMによる浅絞り成形における形状性の評価	日本鉄鋼協会	00MM 真野 元希	中島浩衛教授
新旧環境基準による達成率の比較	日本音響学会	00EM 小倉 敏満	大石弥幸教授 三品善昭教授
新旧環境基準の達成状況と住民反応との比較	騒音・振動研究会	00EM 小倉 敏満	三品善昭教授 大石弥幸教授
正・負コロナ放電のオゾン生成特性に対する一考察	静電気学会	00EM 高倉 一干 97E 久米 文貴 97E 小林 達男	関谷昌久教授
窒素・酸素混合気体中における負コロナ放電のオゾン発生特性	大同工業大学紀要	〃	関谷昌久教授
窒素・酸素混合気体中における負コロナ放電のオゾン発生特性	H12放電研究グループ若手セミナー	〃	関谷昌久教授
窒素・酸素混合気体中における負コロナ放電のオゾン発生特性	電気学会	〃	関谷昌久教授

クリーン  
キャンパス  
環境デー  
大同工大キャンパス  
の主役になろう

## キャンパス カレンダー

### 7 月

23日(月) 前期定期試験期間(8月4日まで)

### 8 月

- 6日(月) 夏季休業(9月17日まで)  
前期追試験期間(8日まで)  
基本情報技術者試験対策講座  
(11~19日、土日除く9月13日まで)
- 7日(火) 初級シスアド試験対策講座  
(11~19日、23~26日、31~2日、  
5~9日除く9月11日まで)
- 8日(水) アメリカ短期留学期間  
(9月3日まで)
- 9日(木) オープンキャンパス  
20日(月) 前期集中講義(24日まで)  
28日(火) リーダースキャン(30日まで)

### 9 月

- 3日(月) 「試験結果通知書」配付・異議申  
請受付期間(4日まで)
- 11日(火) 学修指導期間(14日まで)
- 17日(月) 夏季休業終了
- 18日(火) 履修ガイダンス(21日まで)
- 22日(土) 後期授業開始
- 25日(火) 第1回就職ガイダンス(27日まで)

### 10 月

- 1日(月) 「履修申請確認表」配付(2日まで)  
「履修変更申請書」受付期間  
(土日除く19日まで)
- 15日(月) 第2回就職ガイダンス・適性検査  
(19日まで)
- 19日(金) 履修申請変更届締切日
- 23日(火) 体育大会
- 24日(水) 体育大会



## IT 公開講座

後援/愛知県教育委員会・  
名古屋市教育委員会

「パソコン・インターネットにチャレンジ」  
PC、インターネットの初心者に最適。パ  
ソコンに触れることからメールまで。

●日時:8月20日(月)~23(木)  
19:00~20:30 [4日間コース]

●日時:8月25日(土)~26(日)  
10:30~14:30 [2日間コース]

「CGによる表現の世界を楽しもう」  
Photoshopの概要。写真を絵画風に加  
工し、画像の変化を楽しむ。

●日時:9月1日(土)~2日(日)  
10:30~14:30

「Wordにチャレンジ」  
初心者に最適。文書作成から図形まで

●日時:9月3日(月)~6日(木)  
19:00~20:30

「Wordの機能をフル活用」  
書式設定、図の挿入、差込み印刷など  
Wordをマスターする。

●日時:9月8日(土)~9日(日)  
10:30~14:30

「Excelにチャレンジ」  
初心者に最適。Excelの概要。データ入  
力からグラフの作成まで

●日時:9月10日(月)~13(木)  
19:00~20:30

「Excelの機能をフル活用」  
数式、関数、マクロなどExcelをマスター  
する。

●日時:9月15日(土)~16日(日)  
10:30~14:30

●費用 各講座8,000円  
テキスト代(2,000円程度)実費

●講師 本学教員他  
●対象 中学生から一般社会人  
●会場 滝春校舎(情報教育センター)  
●申込み・問い合わせ

社会交流センター  
〒457-8530 南区滝春町10-3  
TEL 052-612-6193  
FAX 052-612-5623  
はがき又はFAXで講座名・氏名・連絡  
先:住所・電話番号を明記して申し込む。

## 女性向公開講座

### 金属工房「銀の装身具作り」

古くから優しい美しさを愛されて来た銀に  
よって、素敵なオリジナルのアクセサリーを  
造ります。

銀線や銀板を使って、切ったり、曲げたり、  
打ったりという金属工芸の手法により、指  
輪やペンダントを作ります。あなたの心のこ  
もった手作りの作品を作りましょう。

●日時:10月6日、13日、20日、27日  
(各週土曜日4回)10:00~12:00

●講師:鬼頭 正信氏  
●費用:材料代(実費)  
●申し込み先:社会交流センター  
TEL 052-612-6193  
FAX 052-612-5623

## 催事情報

大同工大協賛特別試写会

### 【大河の一滴】

東宝映画配給、中日新聞社主催

五木寛之/原作 新藤兼人/脚本  
神山征二郎/監督  
安田成美、三国連太郎出演映画

「愛」と「生」と「死」をめぐる壮大な人間  
ドラマ。ロシアと金沢を舞台に、父親と娘の  
絆と、ヒロインをめぐる愛の物語。

7月26日(木)名宝劇場で試写会が行わ  
れ、大変好評でした。社会交流センターで  
は9月1日から東宝系劇場で一般公開され  
ます。入場券を希望者先着100名様に差し  
上げます。社会交流センター窓口でお渡し  
します。

## 編集後記

ハンドボール部の連勝記録が止まっ  
ちゃった。残念!でも、草原智也君が日本  
代表U-19欧州遠征メンバーとして選ば  
れた。今頃、スウェーデンで大活躍してい  
ると思うよ。

漕艇部一年生クルーも中部学生ボート  
選手権大会で並外れの強豪クルーが揃っ  
たダブルスカルで、堂々と決勝に進出し4  
位入賞を果たした。凄いぞ。

社会交流センター  
E-mail:pccir@daido-it.ac.jp  
大同工業大学ホームページ  
<http://www.daido-it.ac.jp/>